



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピテクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号: 4 5 7 6)  
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
TEL 0 5 2 - 2 1 8 - 8 7 8 5

## 緑内障治療剤「H-1129 バックアップ化合物（開発コード：H-1337）」 の学会発表のお知らせ

当社が創製し、開発中の緑内障治療剤「H-1129 バックアップ化合物」につきまして、その作用効果について、平成 27 年 5 月 3 日～7 日に米国で開催された The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2015（以下、「ARVO2015」）のポスターセッションにおいて発表いたしましたので、お知らせいたします。

「H-1129 バックアップ化合物」は、開発コード「H-1337」と名付けており、ARVO2015 においても「H-1337」として発表しております。

主な発表内容は次の通りです。

- ・ H-1337 の長時間持続する眼圧下降作用
- ・ H-1337 のメカニズム解明
- ・ H-1337 の滲出型加齢黄斑変性症<sup>(注1)</sup> に対する治療効果<sup>1</sup>

この度発表された研究成果から、H-1337 は緑内障治療剤として非臨床試験に向けて準備を進めております。また、滲出型加齢黄斑変性症の治療薬としての効果についても引き続き研究活動を進めてまいります。

なお、本件による平成 27 年 12 月期の業績予想への変更はありません。

以 上

### 用語解説

(注 1) 滲出型加齢黄斑変性症 (wetAMD)

加齢黄斑変性症とは、加齢にともない目の網膜にある黄斑部に障害が起こり、視力の低下や失明を引き起こす病気で、滲出型 (wet) と萎縮型 (dry) の 2 種類があります。滲出型は脈絡膜から異常な新生血管が生じ、その血管により出血や浮腫などが出現することで、物がゆがんで見える等の視力障害を引き起こします。

---

<sup>1</sup> 国立大学法人三重大学と共同で発表いたしました。当発表は、参加者の 10% にしか与えられない“Hot Topic”に選出されました。